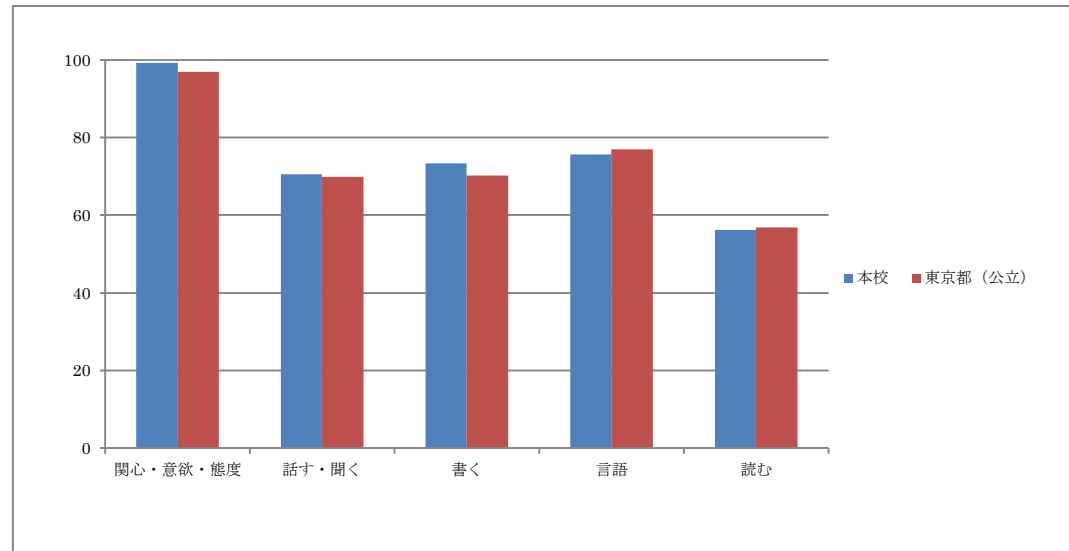


国語（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

1 観点別の正答率についての分析

(1) 国語A：教科の内容

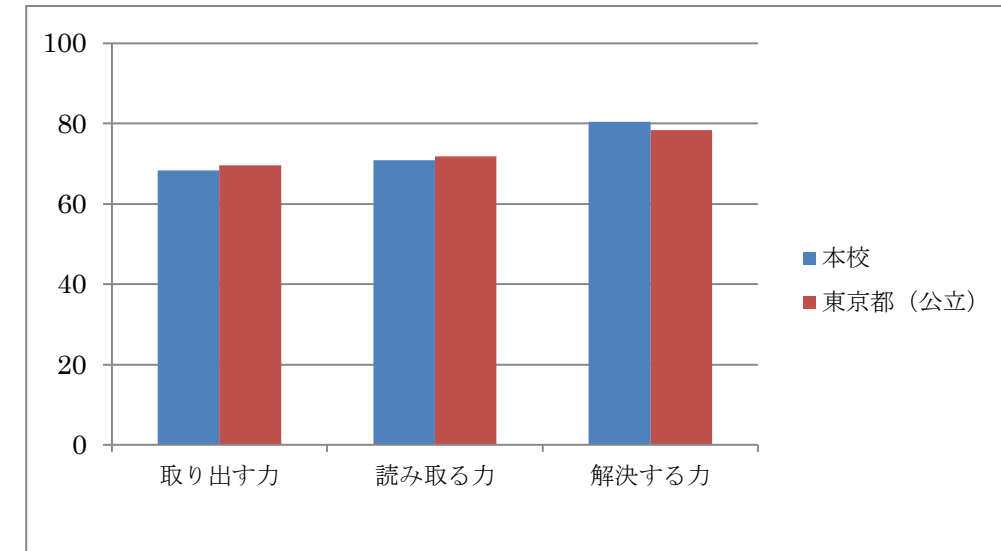


- ① おおむね、東京都の数値に近いものだった。
- ② 漢字を正確に表記する力がやや欠けていた。

結果からの考察

「関心・意欲・態度」が99.2%という高数値を示したことが特徴である。「話す」「聞く」「書く」の数値が東京都の平均を上回ったことは、日ごろの「学び合い」による授業で繰り返しトレーニングを続けてきた成果と考える。

(2) 国語B：読み解く力に関する内容



- ① おおむね、東京都の数値に近いものだった。
- ② 「解決する力」が東京都の数値を上回ったのは「学び合い」による協同学習のもたらした効果と考えられる。

結果からの考察

「解決する力」の数値は東京都の平均を上回ったものの「取り出す力」「読み取る力」の数値が東京都の平均とほぼ同程度だった。授業においていっそう丁寧な取り組みを図る必要がある。

2 指導改善のポイント

(1) A：教科の内容

漢字の読み書きに課題がある。小学校で習った漢字の復習を充実させる必要がある。漢字コンテストや定期テストなどをその機会としたい。

(2) B：読み解く力に関する内容

「関心・意欲・態度」の数値が示すように、国語学習に対する生徒のモチベーションは高いと考える。「解決する力」の数値も高いことから、解決へ導くプロセスに丁寧な「読み取り」と確実な「取り出し」を意識して行わせたい。